

《日语会话（2）》

课程教学大纲

一、课程基本信息

课程类型	总学时为学时数	<input checked="" type="checkbox"/> 理论课（含上机、实验学时）			
	总学时为周数	<input type="checkbox"/> 实习 <input type="checkbox"/> 课程设计 <input type="checkbox"/> 毕业设计			
课程编码	7076812	总学时	32	学分	2
课程名称	日语会话（2）				
课程英文名称	Japanese conversation（2）				
适用专业	日语				
先修课程	（7076811）日语会话（1）				
开课部门	文法学院日语系				

二、课程性质与目标

本课程是日语专业教育必修课。其主要目的是让学生熟悉日语口语表达方式，掌握自然流畅的口语，了解日语口语特征，通过该课程的学习和训练，使学生能用日语较准确地表达自己的思想感情，能与日本人较自由地交谈。同时，培养学生经较短时间的准备，能用日语进行即席的简短发言，并就某些一般性问题进行讨论，阐述观点的能力。

课程目标 1：熟悉日本人的思维方式、行动方式、语言使用的特点。

课程目标 2：了解日本人实际场景的会话，逐步学会正确使用语言，提升语言运用能力。

课程思政目标：通过学习该课程，培养学生扎实的专业基础素养，充分发挥课程所承载的育人功能，把中国故事、传统文化等元素融入日语课程教学中，帮助学生认识到中国的文化对日本产生的巨大影响，从知识和情感认同上提升学生的文化自信，帮助学生树立正确的世界观、人生观和价值观。培养他们用日语“讲中国故事”的能力和跨文化交流沟通能力。

三、课程教学基本内容与要求

第一課 紹介 2

教学内容：

1. 私のお気に入りのカフェなのですが、とっても雰囲気がいいんです。
2. 大きいお寺もあるし、お店も日本の伝統的なものがたくさんある。

3. 机の上に花が飾ってあります。
4. 宿題をしたり、本を読んだりするんですよ。

思政元素：

通过了解日本人介绍某事或物的习惯，对比中日语言表达习惯的不同，学会用日语表达方式讲述中国的事情。

教学要求：

1. 学会介绍自己喜欢的东西或场所等。
2. 学会讲述自己喜欢的理由。

第二課 予約

教学内容：

1. できれば、個室（禁煙席・通路側）がいいんですが。
2. あのう、今晚予約をしている〇〇ですが、実は、予約をキャンセルしたいんですが…。
3. あのう、今晚予約をしている〇〇ですが、実は、予約の時間に、ちょっと遅れてしまうんですが…。
4. いつ／何曜日／何時なら、予約できますか。

思政元素：

通过学习相关表达方式，理解人际交往中以礼相待、相互尊重的重要性。

教学要求：

1. 学会预订饭店或预约购票时的常用表达方式。
2. 学会变更或取消预订的常用表达方式。

第三課 相談

教学内容：

1. 今、お時間いただけませんか。
2. お仕事に申し訳ないのですが。
3. ちょっと困ったことあって、それで…
4. すっかり自信をなくしちゃったよ。

思政元素：

通过学习和别人商量某事，听取对方意见的表达方式，理解为人处事、处理事情对于人生的重要意义。

教学要求：

1. 学会和别人进行沟通、商量。

2. 掌握和别人进行沟通、商量时的基本表达方式。

第四課 提案

教学内容:

1. ～てみない？
2. ～てみませんか。
3. やっぱり～が～じゃない？
4. やはり～が～ではないでしょうか。

思政元素:

通过学习该课内容，了解人际交往中相互理解、相互尊重的重要性。

教学要求:

1. 学会向对方提建议。
2. 掌握提建议时的基本表达方式。

第五課 説明 1 (状況手順)

教学内容:

1. 中には〇〇が入っているんです。
2. 財布にお金が〇〇円ぐらい入っているんですけど。
3. 後ろから来た自転車にぶつけられて。
4. ここにお金を入れてから、ボタンを押せば、コーヒーが出てきます。

思政元素:

通过该课内容的学习，掌握说明情况时的表达方式，理解逻辑思维能力培养的重要性。

教学要求:

1. 学会说明盗窃事件、交通事故等的情况。
2. 掌握说明做菜的顺序、机器使用方法等的顺序。

第六課 説明 2 (病状)

教学内容:

1. 熱／高熱／微熱があります
2. 頭／歯／腰／のど／目が痛いです
3. 手にやけどをしてしまいました
4. 耳がよく聞こえなくなりました

思政元素:

通过该课内容的学习，理解患者和医生之间的相互理解、相互尊重，对改善医患关系、构建社会主义和谐社会的重要性。

教学要求：

1. 学会向医生说明自己的症状。
2. 能够理解医生的指示和说明。

第七課 意見・主張

教学内容：

1. ちょっとよろしいでしょうか
2. ～たらどうかと思います
3. それもそうだと思いますが、…
4. 確かに～ですが、～とは限りません

思政元素：

通过该课内容的学习，理解人和人之间和睦相处、人类和平发展的重要性，理解社会主义核心价值观的重要意义。

教学要求：

1. 学会清楚地说明自己的意见和主张。
2. 学会柔和地、不伤和气地说话。
3. 能够听取对方的意见，说出自己赞成或反对的意见。

第八課 伝言

教学内容：

1. もしもし、～と申しますが、〇〇さんいらっしゃいますか
2. すみませんが、〇〇から電話があったとお伝えいただけますか
3. すみませんが、伝言をお願いできますか
4. 後ほどこちらから、お電話いたします

思政元素：

通过该课内容的学习，了解中国传统文化、礼节对于日本文明发展的重要意义，树立文化自信以及人类文明交流互鉴的意识。

教学要求：

1. 能够和对方在电话中进行恰当的交流。
2. 能够在电话中准确、易懂地向对方委托口信。

第九課 依頼

教学内容:

1. ～ていただけませんか
2. ～ていただければ／～ていただけないかと思ひまして…
3. ていただけるとありがたいんですが…
4. 恐縮ですが／恐れ入りますが

思政元素:

通过该课内容的学习，了解日语语言的产生发展深受中国传统文化影响，了解中国传统文化对周边国家的影响，让学生树立文化自信。

教学要求:

1. 掌握日语中求人办事时的表达方式。
2. 掌握求人办事时的前置表达方式。

第十課 断り**教学内容:**

1. ごめん、悪いんだけど…
2. すみません、今、ちょっと忙しいので…
3. 申し訳ありませんが、ちょっと…
4. お役に立てなくて、すみません

思政元素:

通过该课内容的学习，理解人际交往中保持良好的人际关系的重要性的必要性。

教学要求:

1. 学会委婉地拒绝来自对方的邀约或委托。
2. 学会用礼貌的语言和上司或长辈进行交流。

第十一課 希望**教学内容:**

1. 今週の日曜日、映画を見たいです
2. 日本人の友達がもっとほしいです
3. ちょっと教えてほしいことがあるんですけど、今、いいですか
4. テレビの音を小さくしてもらえませんか

思政元素:

了解人际交往中，委婉地表达愿望、批评的必要性。

教学要求:

1. 学会清楚地说出自己的希望、愿望。
2. 能够理解对方的说明、解释。

第十二課 慰め・励まし

教学内容:

1. もういやになっちゃうなあ
2. こんな悲しいことはこれっきりだ
3. お気の毒ですね
4. 君の悩み、分からないでもないよ

思政元素:

人和人之间的体贴和关心是构建和谐社会必不可少的要素，学会体贴、关心他人，对年轻人的成长至关重要。

教学要求:

1. 在听取对方讲话后能够对其进行安慰和鼓励。
2. 能够在理解对方心情的基础上进行对话。

第十三課 注意・抗議

教学内容:

1. はっきり言って申し訳ないけど、ここ、おかしいよ
2. もっと気をつけてくれないと、困ります
3. そんな態度を取るのは失礼だよ
4. このままでは、法的措置を考えざるを得ないことになります

思政元素:

如何礼貌地提醒或抗议对方的过错，对年轻人的成长具有非凡的意义。

教学要求:

1. 学会在商务交往中提醒对方的不周及对其提出抗议。
2. 掌握提醒、抗议时的基本表达方式。

第十四課 指示・催促

教学内容:

1. 悪いんだけど、～してくれる／くれない？
2. ～をお願いできないかな。
3. ちょっと急いでくれない？
4. 何とか早めをお願いできないでしょうか

思政元素：

了解语言中的敬语表达对于发展正常平稳的人际关系的重要性。即语言表达中的以礼相待的重要性。

教学要求：

1. 学会在商务交往中示意让对方协助自己时的表达方式。
2. 学会在商务交往中巧妙地催促对方。

第十五課 交渉**教学内容：**

1. ご検討いただきましたでしょうか
2. ご提示の価格では無理があると思います
3. 場合によっては仕入先を変えることも考えております
4. 今回の件に関しては見送らせてください

思政元素：

在人际交往中，不卑不亢、平等待人的重要性。

教学要求：

1. 在生意场能够巧妙地和对方进行有关交货期、价格、支付条件等的交涉。
2. 掌握进行交涉时的语言表达。

四、 课程学时分配

教学内容	讲授	实验	上机	课内学时小计	课外学时
第一課 紹介 2	2			2	
第二課 予約	2			2	
第三課 相談	2			2	
第四課 提案	2			2	
第五課 説明 1 (状況手順)	2			2	
第六課 説明 2 (病状)	2			2	
第七課 意見・主張	2			2	
第八課 伝言	2			2	
第九課 依頼	2			2	

第十課 断り	2			2	
第十一課 希望	2			2	
第十二課 慰め・励まし	2			2	
第十三課 注意・抗議	2			2	
第十四課 指示・催促	2			2	
第十五課 交渉	4			4	
合 计	32			32	

五、 教学设计与教学组织

充分利用现代信息技术手段进行教学，力求通过课内教学、课外学习、科学评价三方面循环互动，结合每课主题融入课程思政元素，融合慕课、翻转课堂等先进教学理念，采用自主学习、合作学习、拓展学习等教学方法，充分进行口语表达练习，从而达到培养语言基础扎实、应用能力强、兼备家国情怀和国际视野的高素质应用型人才的目的。

精讲多练、讲练结合，以输入为基础，以输出为驱动，以任务型教学为手段，组织指导学生尽可能在真实语境下掌握日语口语表达技能和日语口语表达形式，加深学生对知识的理解、强化对日语口语技能的掌握并达成思政目标。通过讲授和互动、口语练习为主的方式，将各章节的相关思政要求和内容予以体现。

打破传统模式，以 Can-do 教学理念为指导，培养学生自主学习意识。组织引导学生对教材内容进行探究，力求课堂以学生为主体，最大限度地调动学生的自主学习意识。促使学生积极预习和复习，打下扎实的日语口语基础，将新旧知识紧密联系起来，构建完善的知识网络，达到让学生从被动接受知识到主动加工新知识的转变，最终能够熟练运用日语口语的语言表达。

六、 教材与参考资料

1. 教材

《新经典日本语会话教程 第四册》（第1版），刘利国等主编，外语教学与研究出版社，2017年1月，ISBN 978-7-5135-8526-2

2. 参考资料

《日语语音教程》（第1版），凌蓉，上海外语教育出版社，2015年，ISBN 978-7-5446-3951-4

七、 课程考核方式与成绩评定标准

课程考核方式为平时考核和期末考试相结合，成绩以百分制计分，平时考核

占 40%，期末考试占 60%。期末考试形式为闭卷口试。平时考核由出勤情况（60%）以及课堂表现（40%）构成。其中，平时考核中的课堂表现将兼顾专业知识同思政内容的双向结合及互动应用，突出学生对专业知识中思政内容的活学活用和准确理解。

八、 大纲制(修)订说明

任课教师可根据最新资料和实际情况对授课内容进行适当调整或补充。

大纲执笔人：梁长岁

大纲审核人：聂中华

开课系主任：王立峰

开课学院教学副院长：袁凤识

制（修）订日期：2022 年 1 月